

多自然川づくりサポートセンターの活動状況について

リバーフロント研究所 自然環境グループ 研究員 渡邊 彩花

1. はじめに

平成2年に開始した多自然川づくりの推進に合わせて、(公財)リバーフロント研究所では全国の多自然川づくりの活動を継続的に支援しています。本稿では、これまでの活動内容について報告いたします。

2. 多自然川づくりサポートセンターとは

「多自然川づくり」においては、「多自然川づくり基本指針」(平成18年10月)や「中小河川に関する河道計画の技術基準(以下、中小河川技術基準)」(平成20年3月策定、平成22年8月改訂)を基本としつつも、具体の現場毎にその適用を考えることが必要です。しかし、川づくりの技術や知見の普及・適用、多自然川づくりの具体の事例に関する情報共有と人材育成、さらに住民・NPO等との連携などが課題となっています。

上記課題に対応するため、現場に対する技術的な支援、市民との連携の強化、川づくりに関する相談窓口、情報共有などを目的として、平成20年2月、リバーフロント研究所に「多自然川づくりサポートセンター(以下、サポートセンター)」を設置しました。

サポートセンターの目的は下記のとおりです。

- (1) 技術資料の作成・公表
- (2) 技術の普及・人材育成
- (3) 河川整備の現場からの問い合わせ対応
- (4) 川づくりのプロセスに関するサポート

3. これまでの活動実績

サポートセンター設立から10年経過した平成30年度までに、多自然川づくりに関する講演や市民団体からの相談など、246件の活動を実施しました。

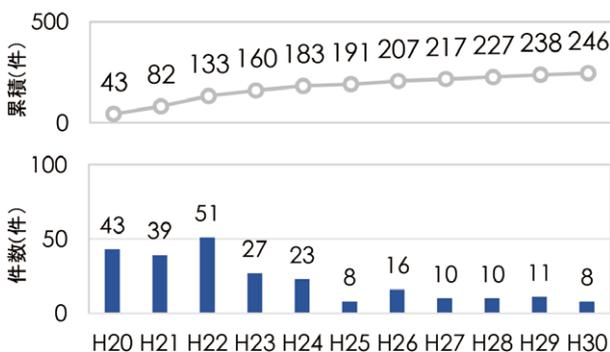


図-1 サポートセンターの活動状況

平成30年度は8件の活動を実施しております。主な活動内容は表-1に示すとおりで、多自然川づくりに関する講演への講師派遣や多自然川づくりに関する研修資料についての相談、川づくりに関する問い合わせへの対応を行っております。

表-1 平成30年度の主な活動

内容	依頼元
新河岸川流域川づくり連絡会への講師派遣	新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川流域川づくり懇談会への講師派遣	埼玉県
多自然川づくりに関する研修資料の相談	岡山県、コンサルタント
河川改修に関わる相談	兵庫県、市民団体



図-2 新河岸川流域川づくり連絡会 講演の様子

4. おわりに

サポートセンターの活動は多自然川づくりの普及、川づくりの質の向上の一端を担うものとなっています。

今後もこれまでの経験と蓄積された情報を踏まえて、技術的な支援を継続していくとともに、多自然川づくりに関する情報発信に努めていきたいと考えております。

問い合わせ先：tasizen@rfc.or.jp